

名古屋市観光客・宿泊客動向調査（平成 18 年度）概要版

1 調査の目的

名古屋市内の主要な観光施設等の入込状況及び宿泊施設の概要、宿泊客数の把握並びに名古屋市を訪れる観光客の目的や特性等を調査し、名古屋市の観光行政の基礎資料とすることを目的としています。

2 調査結果の概要

(1) 観光客の入込動向

【全国観光統計基準の採用】

愛・地球博開催を契機に平成 17 年度より、従来の調査観光地点に、行・祭事、イベント、スポーツ、音楽・演劇等の都市観光を中心とする新たな 53 の観光地点を加え、平成 18 年度については、85 地点の観光入込客数を把握しました。

【観光入込客延べ人数】

観光地点（85 地点）の平成 18 年度観光入込客延べ人数は 5,317 万人であり、平成 17 年度と比較して約 551 万人減少しました。

主な減少理由は、平成 17 年度に「愛・地球博」の名古屋市内事業として「万博ささしまサテライト事業」（352 万人）と「新世紀・名古屋城博」（120 万人）が開催されたことである。

■ 観光地点の分類別入込客数の推移

全国観光統計基準に基づく分類		平成 17 年度		平成 18 年度	
大分類	中分類	地点数	入込客延べ人数	地点数	入込客延べ人数
学ぶ（見る・体験する）	自然				
	文化・歴史	26	19,577,602	25	19,246,422
	産業観光	6	1,821,014	7	2,003,055
遊ぶ（楽しむ・リフレッシュする）	スポーツ・レクリエーション施設	17	14,834,016	17	12,955,647
	温泉				
	買物				
触れ合う（交流する）	行・祭事	12	7,477,495	14	7,428,814
	イベント	24	14,967,916	22	11,538,634
合 計		85	58,678,043	85	53,172,572

調査対象観光地点の選定について

名古屋市では、平成 8 年 3 月に社団法人日本観光協会が刊行した『全国観光客数統計～観光統計の調査・集計方法の全国統一～（全国観光統計基準の提案）』の基準を参考に、調査対象観光地点を選定している。

参考：調査対象施設の基準

- ・原則として、年間入込客数が 5 万人以上かつ、市外の観光入込客数が 2 割以上見込まれる市内観光地点を対象とした。
- ・新規開業施設については、初年度から年間 5 万人以上の入込客が見込まれる場合には、初年度から調査対象とした。

【観光入込客 実人数の推計】

観光客調査により回遊率を設定し、算出した入込客実人数は約 3,074 万人であり、平成 17 年度と比較して約 440 万人減少しました。

■ 観光入込客実人数の推移

	観光入込客延べ人数	回遊率	観光入込客実人数
平成 17 年度	58,678,043	1.67	3,514 万人
平成 18 年度	53,172,572	1.73	3,074 万人

宿泊施設調査により、宿泊客実人数を推計し、宿泊客調査と観光客調査より、居住地割合を設定し、名古屋市内・市外別の宿泊客・日帰り客実人数を推計しました。

■ 市内・市外別宿泊客数・日帰り客数の推計

	実人数計	居住地割合		観光入込客実人数	
		名古屋市	名古屋市外	名古屋市	名古屋市外
観光入込客	3,074 万人	33.5%	66.5%	1,030 万人	2,044 万人
宿泊客	475 万人	5.6%	94.4%	27 万人	448 万人
日帰り客	2,599 万人	-	-	1,003 万人	1,596 万人

【観光消費額の推計】

観光調査により、観光入込客の名古屋市内での消費額を設定し、観光総消費額を推計しました。平成 18 年度の名古屋市内の観光総消費額は、3,405 億円となっています。

■ 観光総消費額の推計

	名古屋市内客	名古屋市外客	合 計
宿泊客一人あたり消費額	20,200 円	21,463 円	
日帰り客一人あたり消費額	8,311 円	9,737 円	
宿泊客総消費額	55 億円	962 億円	1,017 億円
日帰り客総消費額	834 億円	1,554 億円	2,388 億円
名古屋市内観光総消費額	889 億円	2,516 億円	3,405 億円

■ 観光消費額の内訳

	名古屋市内客	名古屋市外客	合 計
食事代消費額	256 億円	838 億円	1,094 億円
交通費消費額	73 億円	380 億円	453 億円
土産代消費額	118 億円	523 億円	641 億円
宿泊代消費額	31 億円	547 億円	578 億円
その他消費額	411 億円	228 億円	639 億円
観光総消費額	889 億円	2,516 億円	3,405 億円

(2) 観光客・宿泊客の実態

観光地点入込客

名古屋城はじめ4観光施設において、秋・春それぞれ平日・土曜・日曜の計6回、及び名古屋まつりやイベント開催時に、調査員が対面聞き取りにより調査しました（合計3,715サンプル）。

■ 調査観光地点とサンプル数

施設名称	秋期調査			春期調査			合計
	平日	土曜	日曜	平日	土曜	日曜	
名古屋城	101	111	110	98	101	100	621
熱田神宮	110	110	110	100	100	100	630
ノリタケの森	111	111	110	100	100	100	632
イタリア村	110	109	110	100	100	100	629
名古屋まつり	603						603
イベント会場 (ポートメッセなごや)	(トミカ博・コミックライブ) 300 (インポートカーショー) 300						600
合計							3,715

【観光地点別入込客の特性】

「名古屋城」において「東海地域以外」からの入込客の割合が多くなっています。一方、「名古屋まつり」や「熱田神宮」においては「名古屋市内」の割合が多くなっています。また、「ノリタケの森」や「熱田神宮」において高齢層の割合が多く、「イベント会場」や「名古屋城」においては若年層の割合が多くなっています。

【観光入込客の遊覧状況】

主要観光施設への立ち寄り状況は、下記のようになっており、調査場所の近隣の観光施設に立ち寄っている割合が多いです。

■ 主な観光施設入込客の遊覧状況

(単位：%)

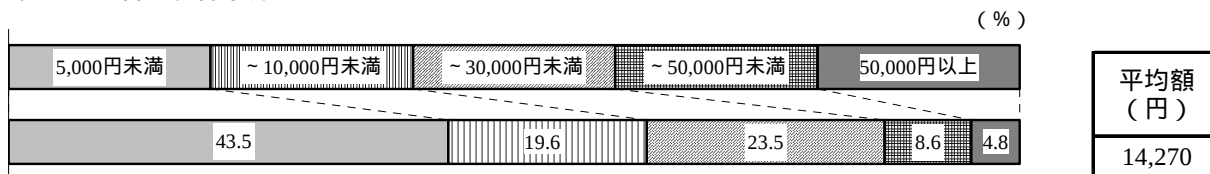
訪問施設 調査場所	名古屋城	熱田神宮	ノリタケの森	イタリア村	名古屋港水族館	テレビ塔	名古屋港水族館	東山動植物園	徳川園	徳川美術館	ランの館	でんきの科学館	名古屋市美術館	産業技術記念館	白鳥庭園	名古屋ポストン美術館	その他	平均訪問施設数
名古屋城		10.3	3.5	6.9	8.5	11.1	3.5	4.5	4.2	3.1	0.8	1.4	1.1	0.6	0.0	0.3	19.8	1.80
熱田神宮	14.8		1.3	1.0	4.0	2.7	3.3	3.2	2.5	2.2	0.5	0.3	0.6	0.0	3.7	1.1	14.4	1.56
ノリタケの森	15.0	4.9		6.8	3.5	2.5	3.5	3.3	4.6	4.1	2.1	0.3	2.4	4.0	0.3	2.2	12.8	1.72
イタリア村	9.4	4.5	4.9		14.3	3.5	11.4	4.3	1.4	0.6	1.3	1.6	0.8	1.0	0.3	0.2	17.6	1.77
名古屋まつり	13.3	4.1	1.7	3.8	3.5	7.1	2.7	2.3	2.3	1.0	5.1	0.7	0.7	0.0	1.3	0.5	21.7	1.72
イベント会場	6.7	5.0	0.8	8.7	14.2	6.2	7.7	5.8	0.5	0.2	1.0	3.0	1.0	0.5	0.2	1.3	19.3	1.82

(複数回答)

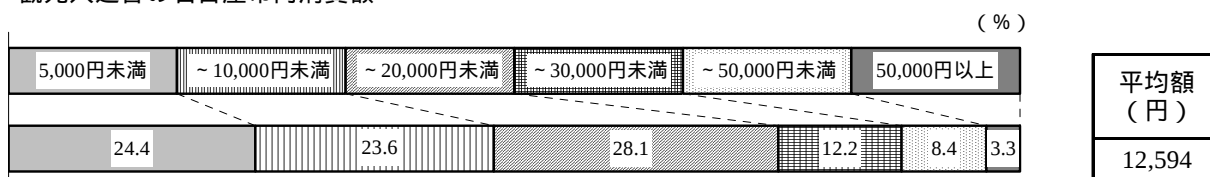
【観光入込客の旅行予算】

今回の旅行予算の平均額は 14,270 円、名古屋市内での消費額は 12,594 円、市内交通費 1,549 円、土産代 2,325 円、食事代 3,955 円である。また、宿泊者の 1 泊の宿泊代は 12,177 円となっています。

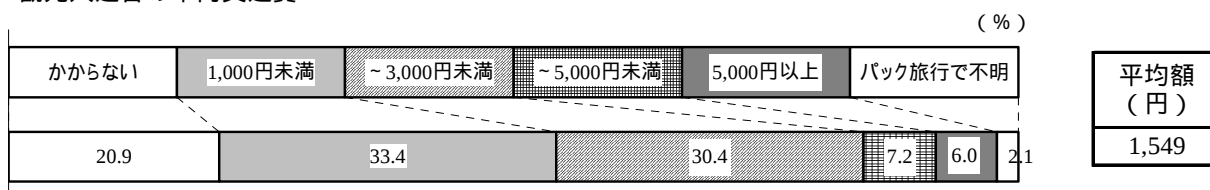
■ 観光入込客の旅行予算



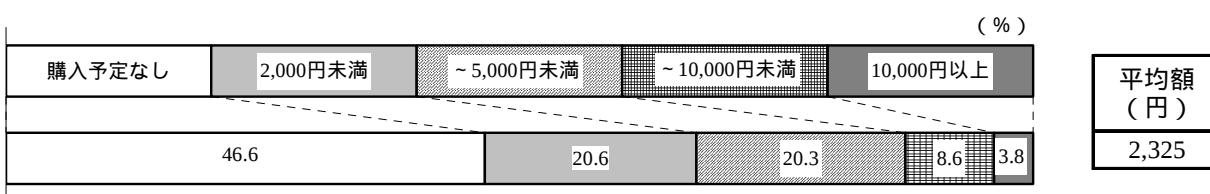
■ 観光入込客の名古屋市内消費額



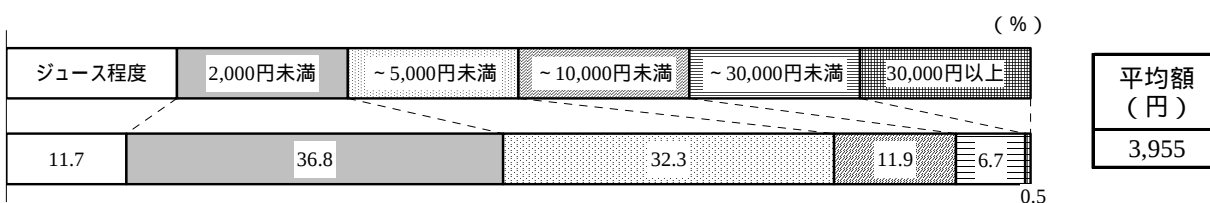
■ 観光入込客の市内交通費



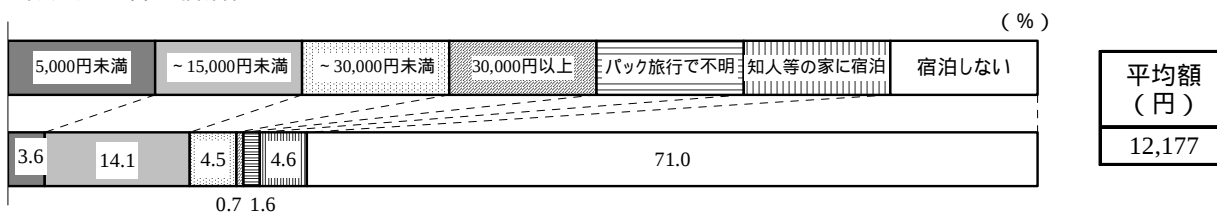
■ 観光入込客の市内での土産代



■ 観光入込客の市内での食事代



■ 観光入込客の宿泊代



宿泊客

市内の20の宿泊施設の協力を得て、秋・春の計2回（各調査期間1か月間）宿泊客に対し、アンケート調査を実施しました（秋期：386、春期：377、合計763サンプル）。

【宿泊客の属性】

「名古屋市内」と「愛知県（名古屋市を除く）」、「岐阜県・三重県・静岡県」を合わせた「東海地域」の割合は37.1%となっています。

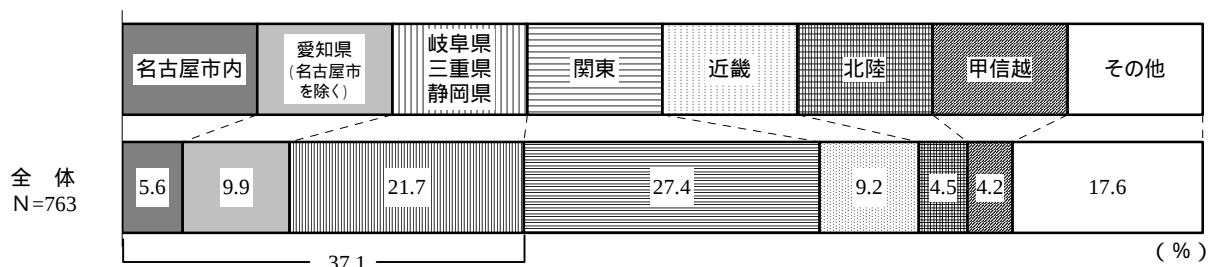
【旅行・訪問の目的】

「観光施設の見学」（18.0%）、「ショッピング」（8.5%）、「観劇・コンサート」（8.3%）などを合わせた「観光・娯楽」が46.5%、「商用・公用」が22.9%、「帰省・冠婚葬祭」が8.9%、「大会・学会」が4.5%となっています。

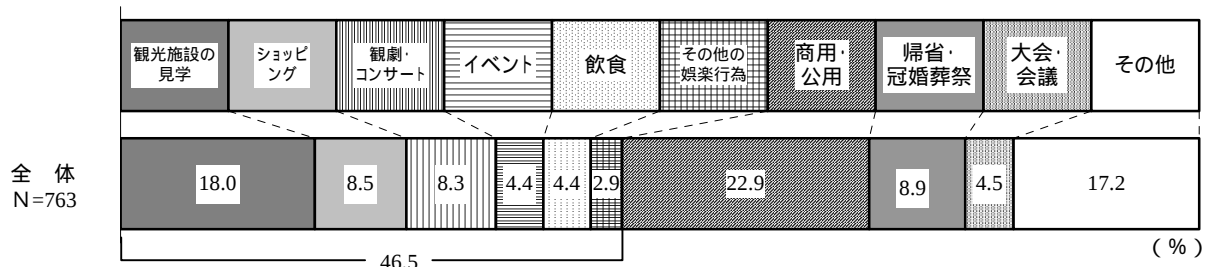
【宿泊客の訪問先】

全宿泊客のうち観光施設等を訪問すると回答した人は581人（76.1%）でした。訪問する割合が高い観光施設は、「名古屋城」（39.6%）が最も高く、次いで「熱田神宮」（21.5%）、「名古屋港」（20.1%）となっています。

■ 居住地別、宿泊客数割合



■ 目的別、宿泊客数割合



■ 宿泊客の主な訪問先

(単位：%)

訪問施設	名古屋城	熱田神宮	名古屋港	東山動植物園	イタリア村	テレビ塔	名古屋港水族館	徳川美術館	徳川園	ノリタケの森	東山スカイタワー	名古屋市美術館	名古屋ボストン美術館	愛知県美術館	名古屋市科学館	ランの館	その他
東海	39.4	24.1	29.6	26.6	24.1	21.5	24.8	10.6	9.9	8.4	12.4	8.8	6.9	8.4	9.5	5.8	65.0
東海以外	40.2	20.2	15.0	12.1	12.5	13.8	10.4	12.9	8.8	6.7	4.0	3.3	3.5	2.5	1.9	3.3	38.3
全体	39.6	21.5	20.1	17.3	16.6	16.4	15.6	11.9	9.2	7.2	6.9	5.2	4.7	4.6	4.6	4.2	47.6

(複数回答)

(3) 宿泊施設の状況

市内宿泊施設に調査票を配布し、施設の概要ならびに宿泊者数を把握しました。市内の総宿泊客数は、回答施設の実績から未回答分を推計し算出しました。

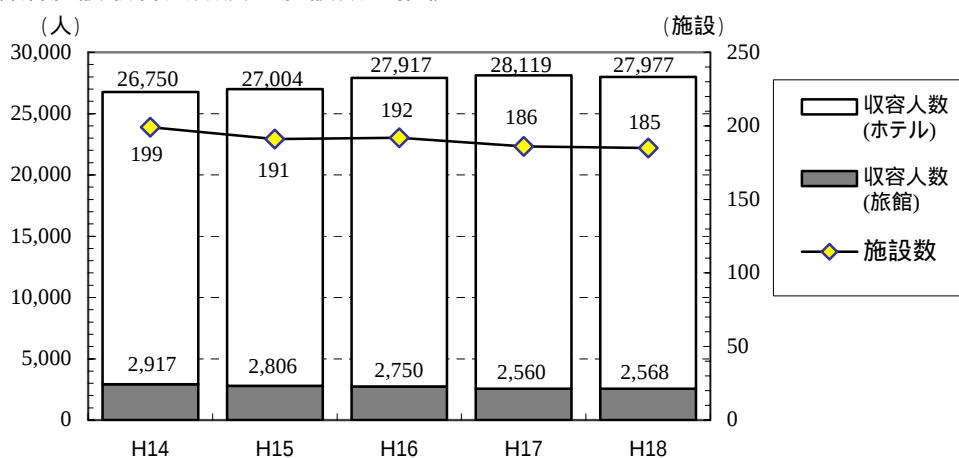
【宿泊施設数】

ホテル 125 施設、旅館 60 施設、合計 185 施設であり、昨年度に比べホテルは 1 施設減少しました。一方、室数の合計は 20,224 室、収容人数の合計は 27,977 人であり、昨年度より部屋数は 165 室、収容人数は 142 人減少しました。

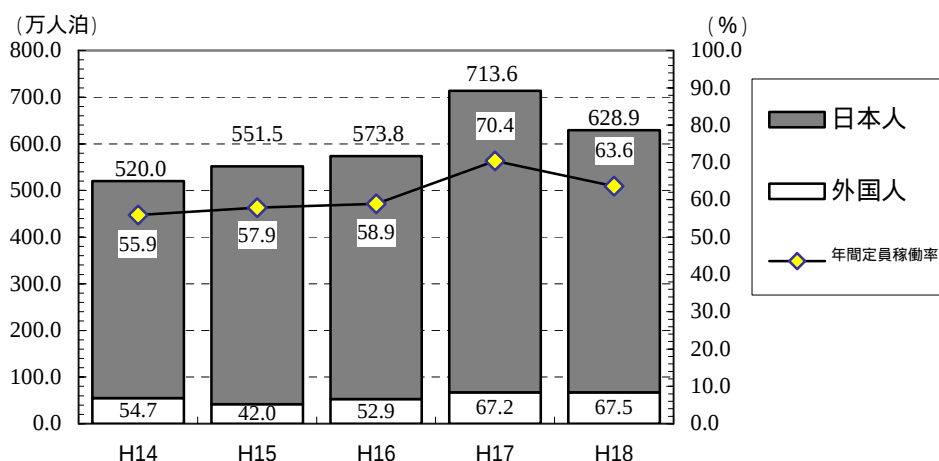
【年間宿泊者数】

年間宿泊者数は延べ数で約 629 万人泊、実人数で約 475 万人と推計されます。昨年度に比べ、延べ宿泊者数は減少、実人数は増加しています。また、外国人宿泊者数は、延べ 68 万人泊、実人数で約 29 万人と推計され、延べ・実人数とも昨年度より増加しています。

■ 市内宿泊施設収容人数及び施設数の推移



■ 施設延べ宿泊者数の推移



■ 推計年間宿泊者数及び年間定員稼働率の推移

年 度		平成 14 年度	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度
区 分	推計総実人数 (人)	3,878,912	4,190,469	4,651,625	4,472,967	4,752,837
	うち外国人	271,866	244,861	333,857	272,539	286,704
推計総延べ宿泊者数 (人泊)	推計総延べ宿泊者数 (人泊)	5,200,484	5,514,738	5,738,330	7,135,833	6,288,947
	うち外国人	546,826	420,207	528,769	671,905	675,238
年間定員稼働率 (%)		55.9	57.9	58.9	70.4	63.6

注：年間定員稼働率とは、定員に占める宿泊者数の割合を示す。客室稼働率とは異なる。

年間定員稼働率 = 年間延べ宿泊者数 ÷ 年間収容可能人数

(4) 全国からみた名古屋の観光

名古屋への訪問実績や訪問意向、観光に対する評価など名古屋の観光実態を把握するため、名古屋市を除く全国の 18～69 歳の男女個人を対象に、インターネットを用いて 11 月にアンケートを実施しました（1,000 サンプル）。

【訪問状況】

名古屋への訪問経験率は 66.2%であり、その目的は、「観光施設の見学」「友人・親戚への訪問」「仕事」が多いです。

訪問のきっかけとしては、「以前から訪れたいと思っていたから」「知人に薦められたから・知人に案内されたから」「興味のある催事が開催されていたから」が多いです。

また、名古屋への訪問には「新幹線」を利用するが 7 割近くを占めています。

【観光資源の認知度など】

名古屋の主要な観光資源のうち、観光施設の「名古屋城」とマスコミでもよくとりあげられている「なごやめし」が認知度、訪問・体験割合とも高くなっています。

【名古屋に対する評価】

名古屋へ観光で訪れた方の満足度は下記のようになっており、満足度が最も高いのは「なごやめしなどの食事」に対してで、次いで「観光施設」に対してでした。総合的な魅力の評価は「満足」が 52.5%、「不満」が 6.1%と訪問者は名古屋への観光に対して良好な評価をしています。

また、名古屋の特色として、「独自の食文化がある」と「家康、秀吉、信長ゆかりの史跡や遺産」の認知度が高いです。

■ 名古屋への観光訪問者の観光に対する評価

（単位：％）

	観光施設	観光施設周辺の雰囲気	係員などの親切さ	おみやげ品	なごやめしなどの食事	案内表示等	総合的な魅力
満足 計	53.4	47.7	36.0	40.3	69.9	33.1	52.5
不満 計	7.3	8.0	7.7	11.9	9.4	7.8	6.1

【今後の訪問意向】

今後、名古屋へ観光で訪れたい意向は約 9 割が抱いており、訪れたいとしている施設等は「なごやめし」と「名古屋城」が多いです。

一方、名古屋を訪れたいと思わない方（10.5%）の理由は、「どの観光施設等も興味を感じないから」が多い結果となっています。

名古屋市内の主要な歴史文化施設や産業観光施設を気軽に巡ることができる「観光ルートバス」の利用意向は 82.6%となっています。

また、名古屋城本丸御殿が復元された場合の訪問意向は 84.0%となっています。

(5) 主要観光施設の入込客数

■ 主要観光施設別入込客数の推移

(単位：人、%)

施設	年度	平成 14 年度	15	16	17(A)	18(B)	対前年度比 (B)/(A)
名古屋城		915,974	925,250	994,994	1,984,187	1,096,137	55.2
東山動植物園		1,936,940	1,981,796	1,735,184	1,650,336	2,020,314	122.4
東山スカイタワー		245,291	253,450	231,048	224,951	259,886	115.5
テレビ塔		201,579	185,757	181,497	194,463	323,818	166.5
熱田神宮		6,498,585	6,535,998	6,465,460	6,547,860	6,235,956	95.2
名古屋港		248,281	213,817	203,434	202,177	195,639	96.8
名鉄海上観光船		31,397	43,524	36,939	34,133	25,117	73.6
名古屋空港		490,813	434,072	433,411	-	-	-
名古屋市科学館		675,170	624,325	615,425	486,104	614,577	126.4
徳川美術館		193,106	176,613	241,912	420,582	251,863	59.9
名古屋市博物館		502,286	478,858	448,195	568,581	363,271	63.9
東谷山フルーツパーク		560,700	572,313	511,899	459,031	547,717	119.3
農業文化園・戸田川緑地		741,236	681,265	658,225	642,757	712,288	110.8
でんきの科学館		566,229	523,940	492,856	333,893	348,158	104.3
名古屋市美術館		553,087	136,749	196,020	196,062	347,052	177.0
名古屋港水族館		1,784,821	1,733,279	1,759,536	1,663,186	1,927,274	115.9
産業技術記念館		136,587	156,277	150,921	303,312	230,618	76.0
白鳥庭園		94,311	90,989	79,848	76,196	82,966	108.9
市政資料館		69,220	65,228	59,274	67,749	59,240	87.4
名古屋能楽堂		129,448	141,141	127,470	135,297	163,455	120.8
愛知県美術館		759,365	824,938	629,283	1,222,438	761,088	62.3
名古屋市農業センター		735,600	727,864	713,839	669,831	622,769	93.0
シートレインランド		863,945	861,622	728,142	600,388	707,572	117.9
有松・鳴海絞会館		156,085	157,989	191,996	189,908	185,820	97.8
ランの館		141,700	126,562	133,473	117,999	128,193	108.6
名古屋ボストン美術館		303,726	246,609	242,916	209,599	237,245	113.2
パノラマハウス		543,604	454,248	391,754	309,246	-	-
ノリタケの森		553,296	496,929	421,515	533,830	410,558	76.9
ブルーボネット		283,066	161,875	117,892	95,941	93,831	97.8
徳川園		-	-	221,601	399,865	254,727	63.7
文化のみち二葉館		-	-	20,565	56,550	35,436	62.7
イタリア村		-	-	-	4,352,600	1,690,100	38.8
ロボットミュージアム		-	-	-	-	422,173	-
スカイプロムナード		-	-	-	-	160,000	-
万博ささしまサテライト事業		-	-	-	3,519,700	-	-
合 計		20,915,448	20,013,277	19,436,524	28,468,752	21,514,858	75.6

* 1：徳川園は平成 16 年 11 月、文化のみち二葉館は平成 17 年 2 月、イタリア村は平成 17 年 4 月、ロボットミュージアムは平成 18 年 10 月、スカイプロムナードは平成 19 年 3 月にそれぞれ開館した。

* 2：名古屋港は、ポートビル展望室、名古屋海洋博物館、南極観測船ふじの入場者の合計数。名古屋空港は、送迎デッキと航空宇宙館の入場者の合計数。展望デッキは平成 17 年 2 月、パノラマハウスは平成 17 年 10 月、名鉄海上観光船は平成 18 年 11 月にそれぞれ閉鎖した。



注1：本文中で用いたテレビ塔、パノラマハウス、ブルーボネット、イタリア村、スカイプロムナードの正式名称は、それぞれ名古屋テレビ塔、JR セントラルタワーズパノラマハウス、名古屋港 ワイルドフラワーガーデンブルーボネット、名古屋港イタリア村、ミッドランドスクエア スカイプロムナードである。

注2：文章や表、グラフに記してある構成比率（％）は、小数第2位で四捨五入しているため、総和が100.0とならない場合や、小計と内訳の総和が一致しない場合がある。

注3：表、グラフに記してある居住地別のなどの数値にはその項目の「無回答」が除かれているため、その合計と全体の数値が一致しない場合がある。

名古屋市観光客・宿泊客動向調査

- 概要版 -

（平成18年度）

平成19年10月発行

発 行 名 古 屋 市 市 民 経 済 局
業務委託先 株 式 会 社 綜 研 名 古 屋
電 話 （ 0 5 2 ） 7 3 3 - 3 3 0 2